

---

# 2017年度第2四半期 決算説明会資料

---

2017年10月31日

**日新製鋼株式会社**

# 2017年度第2四半期 決算の概要



# 2017年度第2四半期決算

## 概況

- ✓ 当第2四半期の連結売上高は3,087億円、連結経常利益は148億円と、対前年同期比で570億円の増収、138億円の増益。
- ✓ 国内外の鋼材需要は総じて堅調。原料価格上昇にともなうコストアップに関し、自助努力を越える部分については、お客様のご理解を得ながら販売価格へ適正に反映する活動を推進した。
- ✓ 生産面では、堅調な需要に対応すべく、品質および供給の安定化を最優先とする操業に注力した。
- ✓ 前述の取組み等により、実力ベースの経常損益については、減価償却方法変更（▲27億円）等の減益要因があったものの、グループ会社の増益等により68億円を計上。また、決算ベースの経常損益においては在庫評価益+80億円により148億円を計上した。
- ✓ ステンレスに関しては、販売価格改善や安定生産・品質改善等の取組みにより、決算ベースで55億円の経常利益を計上した。

# 2017年度第2四半期決算

(億円)

	No	2017年度		上期 (実績) c	2016年度 上期 (実績) d	2017年度 上期 (前回予想) e
		4-6月期 (実績) a	7-9月期 (実績) b			
売上高	1	1,487	1,600	3,087	2,517	3,100
営業利益	2	36	103	139	42	135
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	16	77	93	45
	ステンレス	4	30	25	55	▲ 35
	計	5	46	102	148	10
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	32	64	96	0	80

差異		
① c-d	② b-a	③ c-e
570	113	▲ 13
97	67	4
48	61	3
90	▲ 5	10
138	56	13
96	32	16

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	40	15	55	▲ 25	45
	ステンレス	8	20	5	25	▲ 35	25
	計	9	60	20	80	▲ 60	70

80	▲ 25	10
60	▲ 15	0
140	▲ 40	10

## <実カベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	▲ 24	62	38	70	45
	ステンレス	11	10	20	30	0	20
	計	12	▲ 14	82	68	70	65

▲ 32	86	▲ 7
30	10	10
▲ 2	96	3

# 2017年度第2四半期諸元

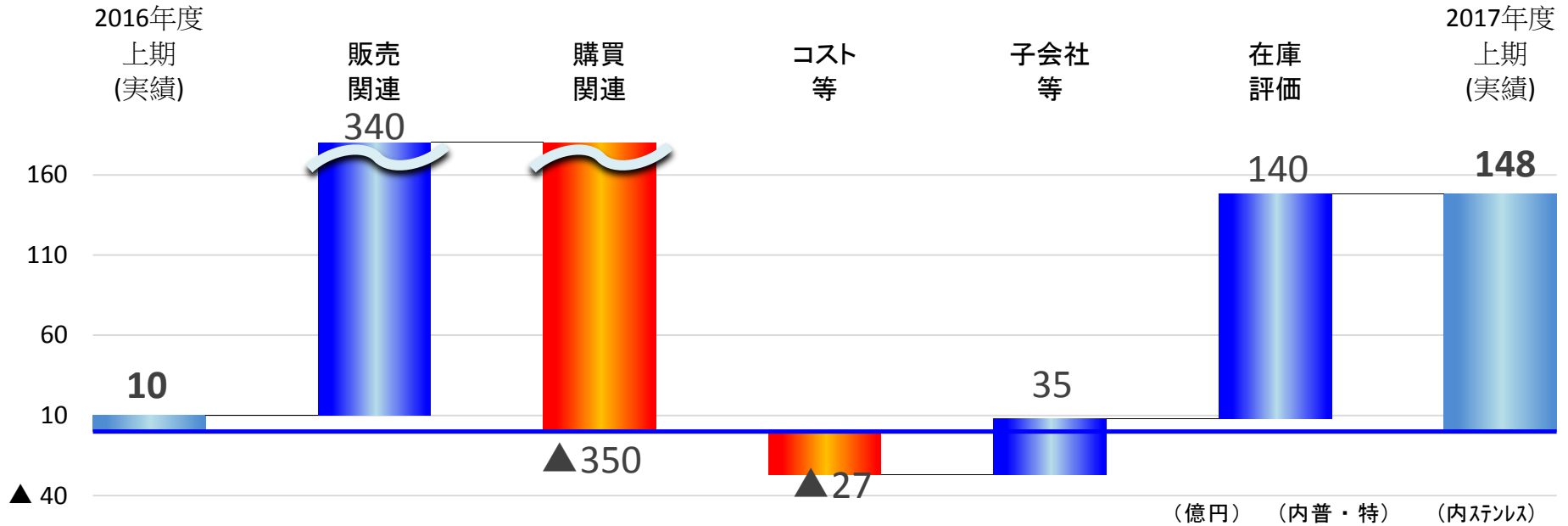
(億円)

		No	2017年度		上期 (実績) c	2016年度 上期 (実績) d	2017年度 上期 (前回予想) e
			4-6月期 (実績) a	7-9月期 (実績) b			
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	72	70	142	147	146
	ステンレス	2	17	17	34	35	34
	計	3	89	87	176	182	180
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	75	76	151	149	152
	ステンレス	5	13	15	28	27	28
	計	6	88	91	179	176	180
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	126	131	128	108	129
輸出比率 (金額ベース,%)		8	16	13	14	15	14
輸出為替レート (円/ドル)		9	111	111	111	105	113

差異		
① c-d	② b-a	③ c-e
▲ 5	▲ 2	▲ 4
▲ 1	0	0
▲ 6	▲ 2	▲ 4
2	1	▲ 1
1	2	0
3	3	▲ 1
20	5	▲ 1
▲ 1	▲ 3	0
6	0	▲ 2

# 経常利益差異内訳

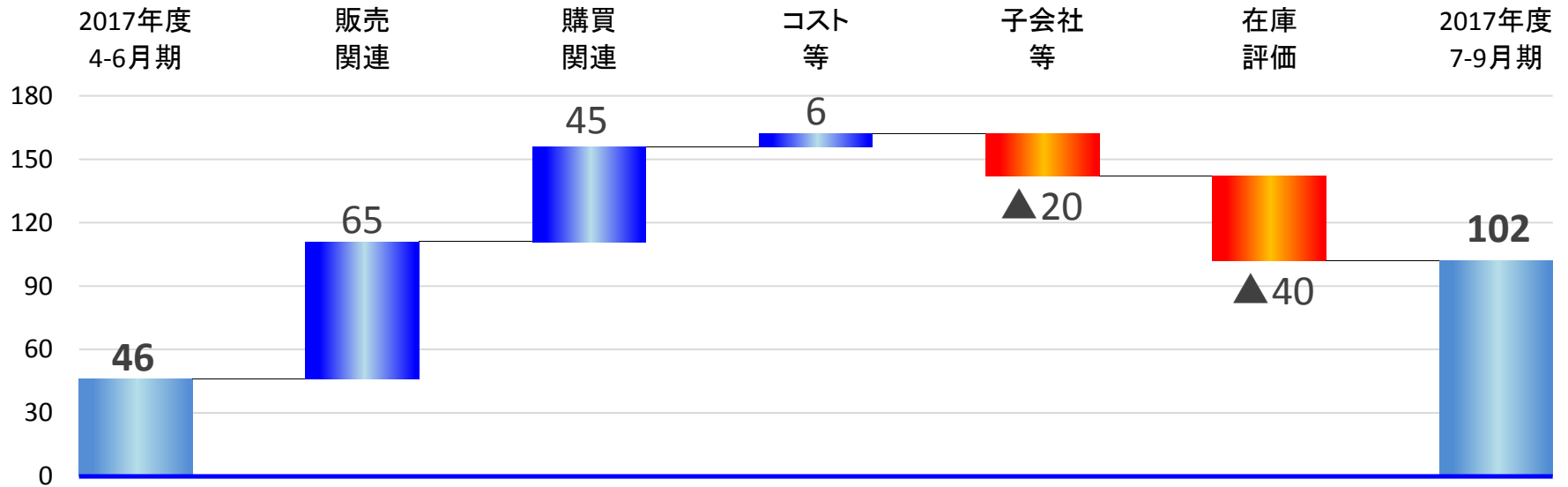
## 2016年度上期(実績):2017年度上期(実績)



2016年度上期 (実績)		10	変動要因	45	▲ 35
変動要因	販売関連	340	価格差 305、数量構成差 20、輸出為替差 15	230	110
	購買関連	▲ 350	鉄鉱石▲65、石炭▲145、ニッケル原料▲25、ケム▲60、油類▲10、輸入為替差▲25、その他▲20	▲ 240	▲ 110
	コスト等	▲ 27	減価償却方法変更影響▲27	▲ 17	▲ 10
	子会社等	35	海外関連会社 26	▲ 5	40
	在庫評価	140	▲60→80 (内ステンレス▲35→25)	80	60
	計	138		48	90
2017年度上期 (実績)		148		93	55

# 経常利益差異内訳

## 2017年度4-6月期(実績):2017年度7-9月期(実績)

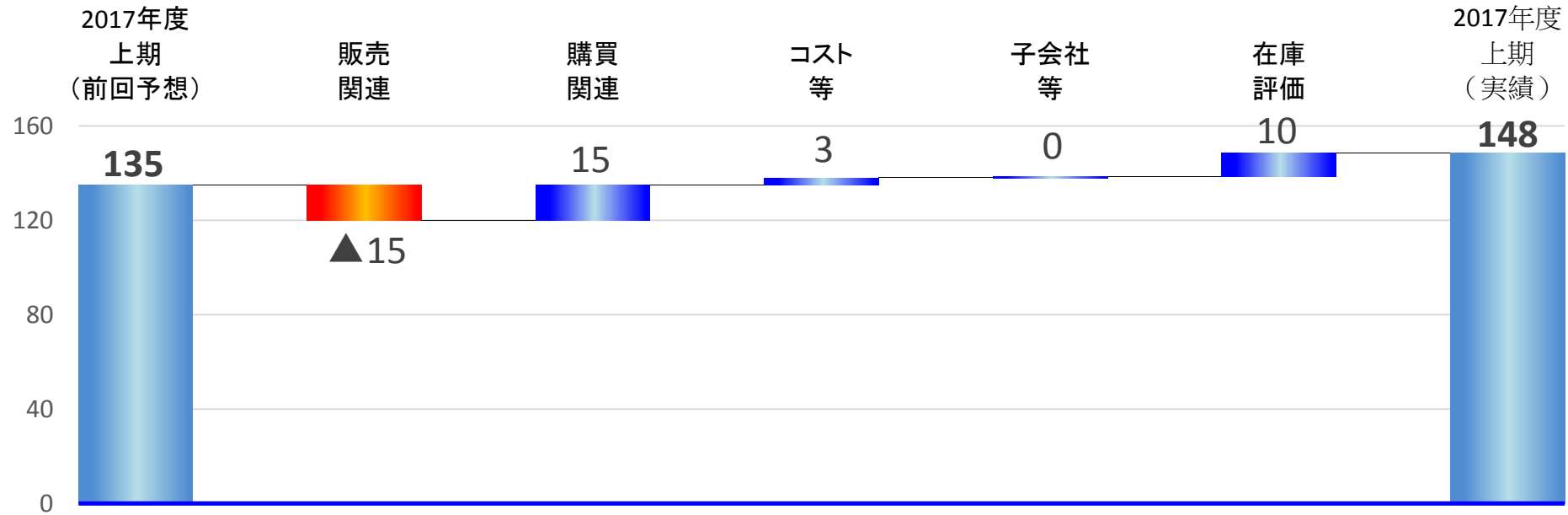


(億円) (内普・特) (内ステンレス)

2017年度4-6月期 (実績)		46	変動要因	16	30
変動要因	販売関連	65	価格差40、数量構成差25	45	20
	購買関連	45	鉄鉱石 10、石炭 20、輸入為替差 10、その他 5	50	▲ 5
	コスト等	6		1	5
	子会社等	▲ 20	海外関連会社▲14	▲ 10	▲ 10
	在庫評価	▲ 40	60→20 (内ステンレス 20→5)	▲ 25	▲ 15
計		56		61	▲ 5
2017年度7-9月期 (実績)		102		77	25

# 経常利益差異内訳

## 2017年度上期(前回予想):2017年度上期(実績)



(億円) (内普・特) (内ステンレス)

2017年度上期(前回予想)		135	変動要因	90	45
変動要因	販売関連	▲15	価格差▲15	▲15	0
	購買関連	15	鉄鉱石 5、輸入為替差 10	15	0
	コスト等	3		▲2	5
	子会社等	0		▲5	5
	在庫評価	10	70→80 (内ステンレス 25→25)	10	0
計		13		3	10
2017年度上期(実績)		148		93	55



# 貸借対照表(2017年9月末)

		対'17/3末	主な内訳
現預金	140	▲ 26	
売上債権	694	88	
たな卸資産	1,496	174	
その他流動資産	250	▲ 232	
有形・無形固定資産	2,899	25	有形・無形固定資産取得134
投資等	1,533	▲ 78	
資産合計	7,014	▲ 49	

有利子負債	2,334	▲ 116	有利子負債削減
その他の負債	2,300	▲ 51	
負債合計	4,634	▲ 167	
資本金・資本剰余金	1,063	—	
利益剰余金	880	109	親会社株主純利益96、配当△5
自己株式	▲ 5	▲ 0	
その他の包括利益累計額	302	▲ 1	
非支配株主持分	138	9	
純資産合計	2,379	117	
負債・純資産合計	7,014	▲ 49	

# 2017年度業績予想

## 概況

- ✓ 通期連結業績は、今後の不確定要素はあるものの、売上高は6,200億円、経常利益は180億円と、対前期比増収(945億円)増益(121億円)を見込む。
- ✓ 本業績予想は、減価償却方法の変更(▲50億円)を含んでおり、実質的には対前期で約170億円の経常利益増益となる見込み。
- ✓ 対前回(7月)予想では、原料市況変動による価格転嫁の期ズレ(▲45億円)等が見込まれるものの、在庫評価益(+50億円)等により、20億円の増益を見込む。
- ✓ 足下の堅調な鉄鋼需要を着実に捕捉するため、引続き設備の安定稼働に努め、安定的かつ高品質な製品供給を最優先としていく。
- ✓ グループ会社については、特に海外の関係会社に関して不透明な要因が多く、引き続き慎重な見通しとしている。
- ✓ 新日鐵住金との連携に関しては、鉄源供給や操業面等、着実にシナジーが出現し始めている。呉製鉄所の高炉稼働期間延長もシナジーの一つ。高炉長寿命化で生じた投資余力を活用し、コア製品戦略の深化を図っていく。
- ✓ 販売面においても、相互で戦略の共有を進めつつ、新日鐵住金が対応していないニッチな領域を当社が担当し、グループ利益の最大化に寄与していく。

# 2017年度業績予想

(億円)

	No	2017年度			2016年度	2017年度	
		上期 (実績) a	下期 (予想) b	(予想) c	(実績) d	(前回予想) e	
売上高	1	3,087	3,113	6,200	5,255	6,200	
営業利益	2	139	51	190	78	180	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	93	32	125	104	120
	ステンレス	4	55	0	55	▲ 45	40
計	5	148	32	180	59	160	
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	96	4	100	16		

差異		
① b-a	② c-d	③ c-e
26	945	0
▲ 88	112	10
▲ 61	21	5
▲ 55	100	15
▲ 116	121	20
92	84	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	55	0	55	25	30
	ステンレス	8	25	20	45	▲ 35	20
	計	9	80	20	100	▲ 10	50

▲ 55	30	25
▲ 5	80	25
▲ 60	110	50

## <実カベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	38	32	70	79	90
	ステンレス	11	30	▲ 20	10	▲ 10	20
	計	12	68	12	80	69	110

▲ 6	▲ 9	▲ 20
▲ 50	20	▲ 10
▲ 56	11	▲ 30

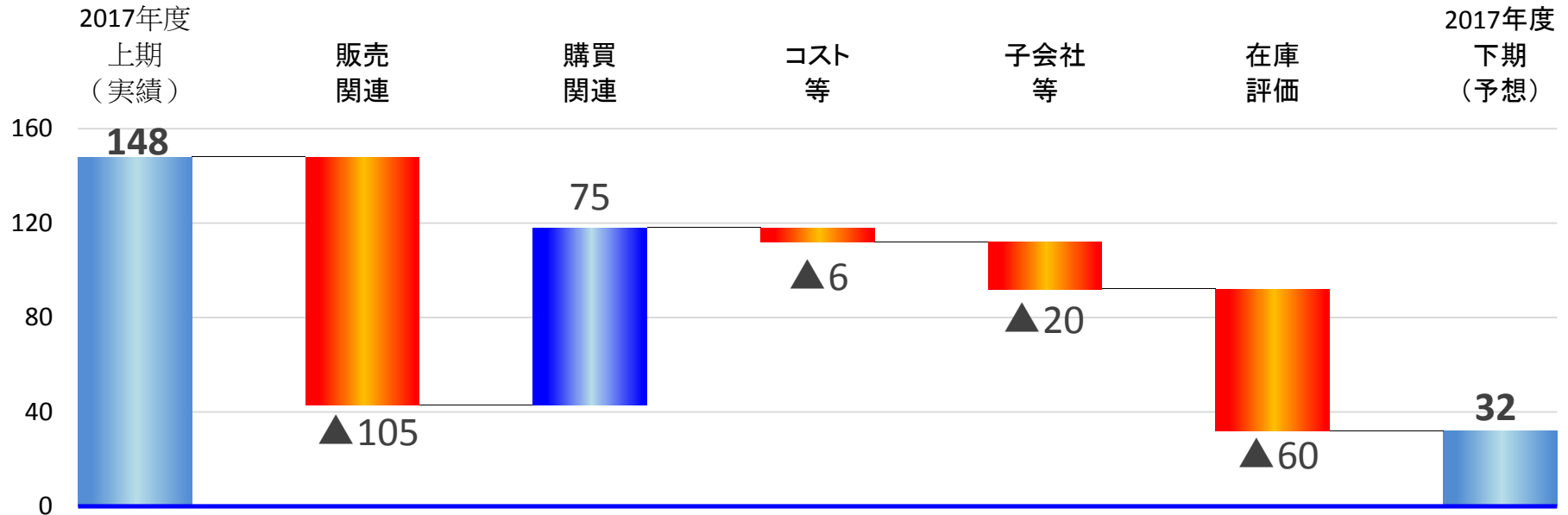
# 2017年度業績予想諸元

		No	2017年度			2016年度	2017年度
			上期 (実績) a	下期 (予想) b	(予想) c	(実績) d	(前回予想) e
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	142	148	290	294	292
	ステンレス	2	34	32	66	66	66
	計	3	176	180	356	360	358
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	151	156	307	308	307
	ステンレス	5	28	30	58	53	55
	計	6	179	186	365	361	362
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	128	125	126	109	125
輸出比率 (金額ベース, %)		8	14	13	13	15	13
輸出為替レート (円/ドル)		9	111	110	111	108	112

差異		
① b-a	② c-d	③ c-e
6	▲ 4	▲ 2
▲ 2	0	0
4	▲ 4	▲ 2
5	▲ 1	0
2	5	3
7	4	3
▲ 3	17	1
▲ 1	▲ 2	0
▲ 1	3	▲ 1

# 経常利益差異内訳

## 2017年度上期(実績):2017年度下期(予想)

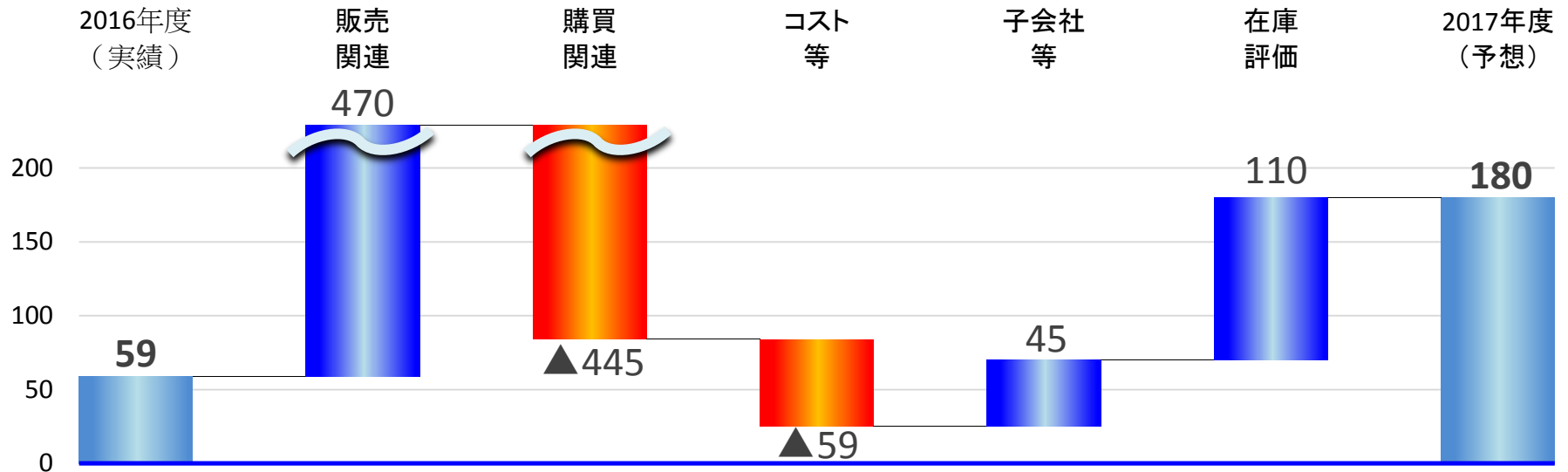


(億円) (内普・特) (内ステンス)

2017年度上期 (実績)		148	変動要因	93	55
変動要因	販売関連	▲ 105	価格差▲105、数量構成差 15、輸出為替差▲15	▲ 45	▲ 60
	購買関連	75	鉄鉱石 10、石炭 25、ニッケル原料▲5、粗鋼 35、 輸入為替差 15、その他▲5	35	40
	コスト等	▲ 6		▲ 1	▲ 5
	子会社等	▲ 20	海外関連会社等	5	▲ 25
	在庫評価	▲ 60	80→20 (内ステンス25→20)	▲ 55	▲ 5
計		▲ 116		▲ 61	▲ 55
2017年度下期 (予想)		32		32	0

# 経常利益差異内訳

## 2016年度通期(実績):2017年度通期(予想)

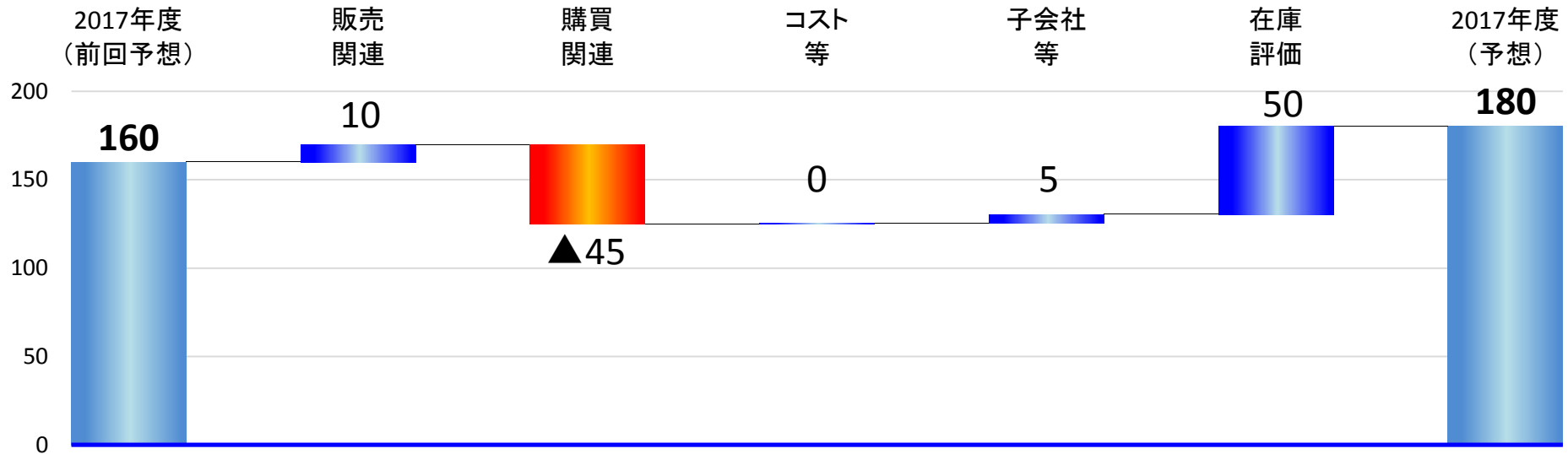


(億円) (内普・特) (内ステンレス)

2016年度通期 (実績)		59	変動要因	104	▲ 45
変動要因	販売関連	470	価格差 410、数量構成差 40、輸出為替差 20	325	145
	購買関連	▲ 445	鉄鉱石▲85、石炭▲150、油類▲20、ニッケル原料▲35、 ゴム▲70、輸入為替差▲45、その他▲40	▲ 295	▲ 150
	コスト等	▲ 59	減価償却方法変更影響▲50、電力単価差▲20	▲ 39	▲ 20
	子会社等	45	海外関連会社等	0	45
	在庫評価	110	▲10→100 (内ステンレス ▲35→45)	30	80
計		121		21	100
2017年度通期 (予想)		180		125	55

# 経常利益差異内訳

## 2017年度通期(前回予想):2017年度通期(予想)



(億円) (内普・特) (内ステンレス)

2017年度通期 (前回予想)		160	変動要因	120	40
変動要因	販売関連	10	数量構成差 10	5	5
	購買関連	▲ 45	石炭▲30、ニッケル原料▲15、輸入為替差15、その他▲15	▲ 25	▲ 20
	コスト等	0		0	0
	子会社等	5		0	5
	在庫評価	50	50→100 (内ステンレス 20→45)	25	25
	計	20		5	15
2017年度通期 (予想)		180		125	55

# 剰余金の配当

- ◆ 1株当たり15.0円の間配当を実施。  
なお、期末配当については、現時点で未定。

## 【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえた株主還元を実施する方針とする。「利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安とする。



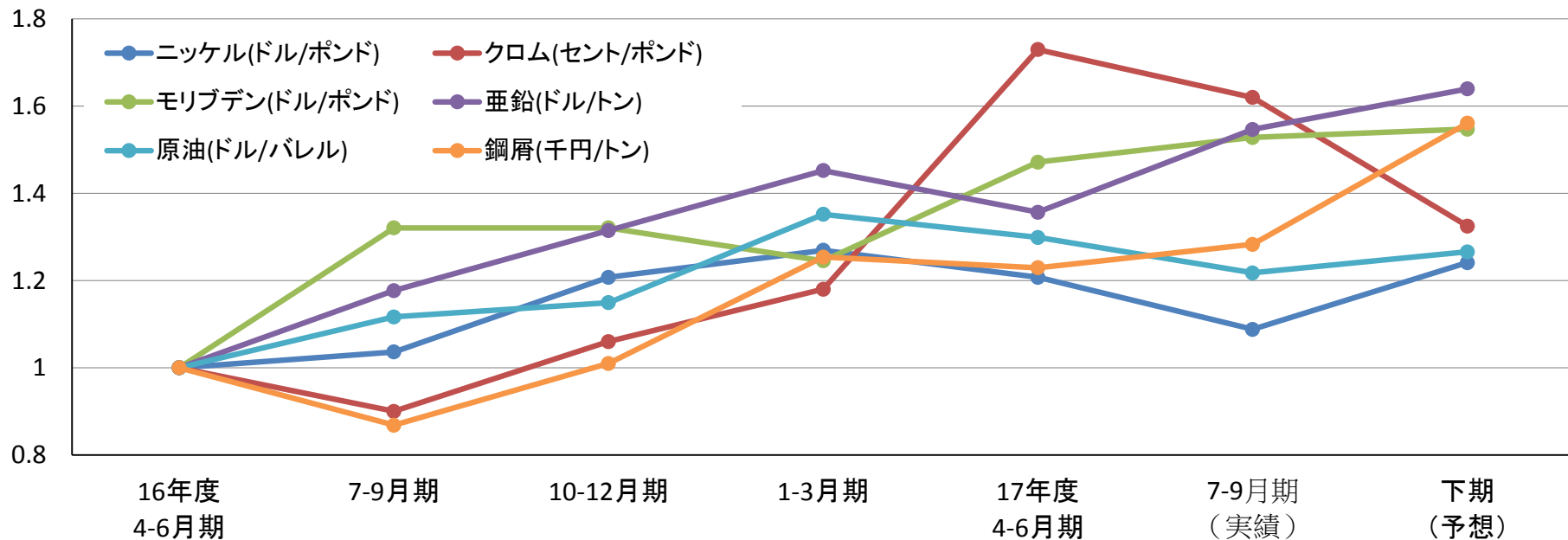
(ご参考)  
主要データ



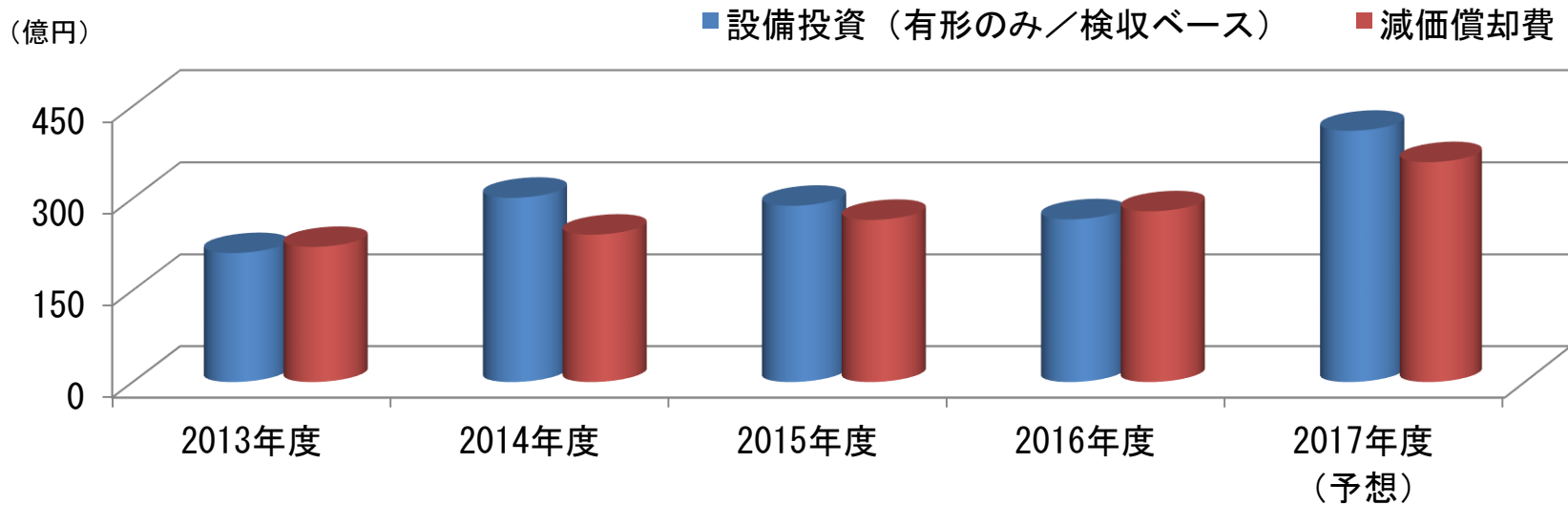
# 購買市況(適用ベース)

	2016年度							2017年度				
	上期			下期			平均	上期			下期	平均 (予想)
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月	平均	平均 (予想)	
ニッケル(ドル/ポンド)	3.86	4.00	3.93	4.66	4.90	4.78	4.36	4.66	4.20	4.43	4.79	4.61
クロム(セント/ポンド)	100.0	90.0	95.0	106.0	118.0	112.0	103.5	173.0	162.0	167.5	132.5	150.0
モリブデン(ドル/ポンド)	5.3	7.0	6.2	7.0	6.6	6.8	6.5	7.8	8.1	8.0	8.2	8.1
亜鉛(ドル/トン)	1,915	2,254	2,085	2,518	2,781	2,650	2,367	2,598	2,962	2,780	3,140	2,960
原油(ドル/バレル)	39.5	44.1	41.8	45.4	53.4	49.4	45.6	51.3	48.1	49.7	50.0	49.9
鋼屑(千円/トン)	20.5	17.8	19.2	20.7	25.7	23.2	21.2	25.2	26.3	25.8	32.0	28.9

購買市況の推移 (2016年度4-6月期を1.00)



# 設備投資・減価償却費



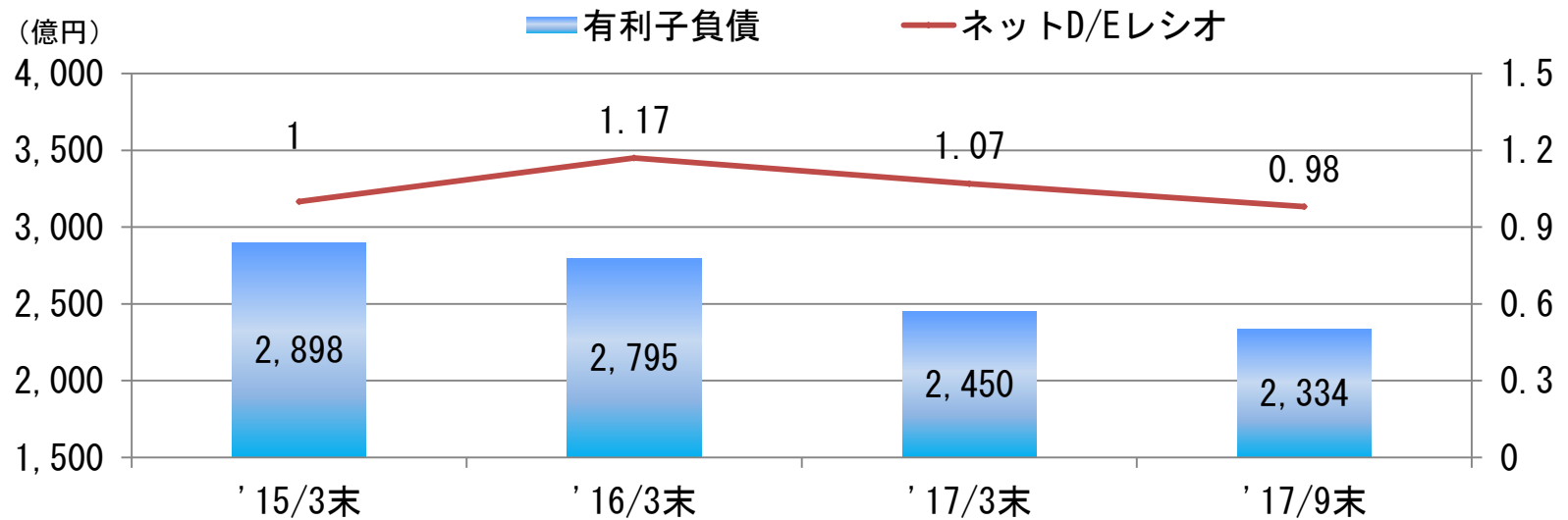
(億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度（予想）
設備投資	211	301	288	266	410
減価償却費	221	241	265	279	359

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

(注) 2017年度より、減価償却方法を定額法から定率法に変更

# 有利子負債・ネットD/Eレシオ



	'15/3末	'16/3末	'17/3末	'17/9末
手許預金 (億円)	263	314	167	140
有利子負債 (億円)	2,898	2,795	2,450	2,334
ネットD/Eレシオ	1.00	1.17	1.07	0.98
〃 (格付ベース) ※	0.86	0.98	0.89	0.82

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本金性が認められるハイブリッドローンについて元本 (400億円) (注) の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ。

(注) 当社は、2017年9月29日付当社プレスリリースに記載の通り、本ハイブリッドローンについて、2017年10月31日 (本日) 付で返済することを決定している。

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、2017年10月27日に行った決算発表内容に基づき作成されており、本資料に含まれている当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料にのみ依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願いいたします。また、本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先

日新製鋼株式会社

財務部 予算・IRチーム

TEL : 03-3216-6213